

災害時の声の伝言板

171

災害用伝言ダイヤル

災害時には電話が混雑し、家族と連絡が取れなくなる方が多くいます。そんなときには「171」をダイヤルし、利用案内に従って伝言の録音・再生を行ってください。利用の開始や録音件数(最大10件)など、利用条件についてはNTTが決定し、テレビ・ラジオなどを通じてお知らせします。

録音方法 **171→1→0465→自宅の電話番号**
案内放送が流れます。市外局番が必要です。

再生方法 **171→2→0465→自宅の電話番号**
案内放送が流れます。市外局番が必要です。

※災害用伝言ダイヤルは、一般電話のほかに公衆電話、携帯電話及びPHSからも利用できます。

災害用伝言板への安否情報登録及び確認方法

登録方法

- ① Menu画面に表示される「災害用伝言板」を選択
- ② 「登録」を選択
- ③ 「無事です」等の状態の選択と100文字以内のコメントを入力
- ④ 「登録」を押して完了

確認方法

- ① Menu画面に表示される「災害用伝言板」を選択
- ② 「確認」を選択
- ③ 安否を確認したい人の携帯電話番号を入力
- ④ 「検索」を押して伝言を確認

NTTdocomo

<http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi>

au(KDDI)

<http://dengon.ezweb.ne.jp/>

SoftBank

<http://dengon.softbank.ne.jp/>

PHSやパソコンなどからも伝言が確認(災害時のみ)できます。 ※詳しくは、各携帯電話会社にお問合せください。


準備

非常持ち出し品チェックリスト

準備が出来たら
✓ チェックを
入れよう!

携帯ラジオ

根拠や確証のないうわさに惑わされずに正しい情報を得るため、小型で軽くFMとAMの両方が聴ける携帯ラジオとその予備電池を忘れずに。




飲料水・食料

食料は火を通さなくても食べられるものを、水はミネラルウォーターなどを、乳幼児がいる場合は粉ミルクなどを忘れずに。




生活用品・衛生用品

ライター、缶切り、ティッシュ、ビニール袋、携帯トイレ、マスク、生理用品などを、乳幼児がいる場合は哺乳瓶などを忘れずに。




ライト・ろうそく

停電時や夜間の移動に欠かせないライトと予備の電池を、ろうそくは太くて安定のよいものを忘れずに。



救急薬品・常備薬

ばんそうこう、ガーゼ、包帯、三角巾、消毒薬、解熱剤、胃腸薬、風邪薬、鎮痛剤、目薬、ピンセットなどを、持病のある方は常備薬を忘れずに。




衣類

上着、下着、手袋、靴下、ハンカチ、タオルなどを、乳幼児がいる場合は紙おむつなどを忘れずに。



ヘルメット(防災ずきん)

屋根瓦や看板などの落下物から頭を守るためのヘルメット(防災ずきん)などがあると便利。



現金

現金は、紙幣と硬貨の両方を持つていと便利。



通帳類・証明類・印鑑

預金通帳、健康保険証、免許証、住民票の写し、印鑑などがあると便利。



持ち出し袋の中身は、定期的に点検を。 せっかく揃えた持ち出し品も定期的に点検しないと使い物にならない場合があります。ラジオの電池や缶詰の賞味期限など半年に一度くらいは点検しましょう。

非常持ち出し品のほかに、災害復旧までの「備蓄品」を家族全員3日分を用意しておきましょう。飲料水は一人3リットル、食料は一人3日分、乳幼児がいる家庭では、粉ミルクや離乳食を3日分備蓄しておきましょう。